

広島県

ブランディングの基礎知識についての勉強会などを開催

支援概要

■支援の経緯

Y地域では寒冷地の産物であるルバーブを栽培し、ソースに加工して商品化している。しかしルバーブ自体の知名度が低く商品の魅力が伝わりにくいため、販売に苦戦している。商品と地域のブランディングや商品の販売戦略の立案ができるようになるために支援を要請した。地域ブランディングと食に関わる専門知識を持つT氏は豊富な実績があり、現在は関西にある食品輸出を推進する共同組合の経営戦略アドバイザーとしても活躍している。

広島都市圏内でルバーブ=Y地域というイメージを醸成して、将来的に他の商品を含め国外への輸出を視野に入れた販路拡大への足がかりになることを期待する。

■専門家による具体的な支援内容

支援の始めとしてブランディングの基礎知識についての勉強会を開催。ブランディングとはお客様目線で行う必要があり、時代のニーズに合わせて変化していくものであることや、ブランディングにおいてはターゲットマーケティングが重要で、ファンになってもらうことを最終的なゴール設定にするよう講義した。また、Y地域のルバーブを使った加工品（ソース、もみじ饅頭）が販売されている道の駅で、陳列方法や販売ツール、広報チャンネルなどについて研究員と意見交換を行いながらアドバイスを行った。

支援の効果

道の駅での陳列については、販売者ではなく顧客目線に立ち、商品が手に取りやすい位置やポップの見直しなどブランディングを意識した取り組みができた。

また、他地域の取組みの成功例や失敗例が聞け、自分たちの立ち位置や方法論がぶれていないことが分かり、ルバーブの商品力も再認識できたことが研修会員にとっては貴重な機会となった。



専門家の声

ブランディングについては、研究会員がすでに実施している部分もあるので、今後はSNS等を利用した情報発信もしっかりやっていけるような仕組みづくりや、スキー場や温泉等の地域資源とうまくセットにしてプロモーションしていくことが必要と考える。

団体の声

ブランディングの考え方や手法などを詳細に解説いただき、今後の取組みに大いに参考になった。今後は特産品を更にブラッシュアップし、関西への進出、ひいては国外輸出に向けての具体的戦略の検討を開始したい。